

日汉对照世界名著丛书

少年维特的
的

烦恼

若きウエルテルの悩み

歌德

著



H369.4

G30

日汉对照世界名著丛书

少年维特的烦恼

原 著 歌 德

中文翻译 韩耀成

日文翻译 竹山道雄

编 校 刘树仁

吉 林 大 学 出 版 社

D254/23

日汉对照世界名著丛书

少年维特的烦恼

原著 歌德 日文翻译 竹山道雄

中文翻译 韩耀成 编校 刘树仁

责任编辑、责任校对：张显吉

封面设计：张沐沉

吉林大学出版社出版

吉林大学出版社发行

(长春市东中华路37号) 长春市永昌福利印刷厂印刷

开本：850×1168毫米 1/32 1998年6月第1版

印张：5.5 插页：2 1998年6月第1次印刷

字数：204千字 印数：1—6000册

ISBN 7-5601-2126-8/I·100 定价：8.00元

出版者的话

为了提高日语学习者的阅读能力和兴趣，加深对日本语言文化的理解，我们邀请了吉林大学部分日语专家和学者编写了日汉对照世界名著丛书（全译本）第一辑。

本辑所选世界名著，日文采用日本最著名版本（《雪国·伊豆舞女》为日文原作，《简爱》、《茶花女》、《少年维特的烦恼》为日文精典译作），中文采用译林出版社译本，均出自我国著名翻译家之手。因此，所选版本具有权威性。

丛书采用同面相对的日汉对照方式，即日文原文与相应的中文同面对应，这样便于读者参照阅读，在两种语言环境中体会世界名著的魅力。

丛书充分考虑到日文和中文的不同阅读习惯，在版面安排上，日文纵排，中文横排；日文排在上，中文排在下，既相互对应，又独立成文。使用文字字体也均采用日文和中文的通用字体，印刷上色调略有差别。为了达到同面相对的目的，丛书每面的中文字距和行距略有调整，用两个空格代替分段回行。既保持了日文的完整性，又保持了中文的文学艺术性。

本辑的出版，得到了日本岩波书店、日本在华日语专家东海林健先生、吉林大学外语学院的部分专家以及江苏译林出版社竺祖慈先生等的支持和帮助，在此一并表示深深地谢意。同时，由于我们的水平和力量所限，不足之处在所难免，敬请读者不吝赐教。

吉林大学出版社

1998年5月



少年雜誌的煩惱 上 篇

第一卷

一七七一年 五月四日

離れてきてしまつてほんとうによかった。友よ、人間の心というものはふしぎなものだね。あれども懐かしく去りがたかつた君から別れて、しかもよろこんでいるのだから！しかし、君は赦してくれるだろう。君以外の人たちとのあのいきさつは、まさに私のような人間をくるしめようとて、運命がわざわざ選びだしたようなものだった。レオノーレにはほんとうにきのどくなことだった！でも、私には罪はないのだよ。どうにも仕方はなかった。あのひとの妹のもっている独特の魅力が私には楽しかったのだが、そのうちにあのひとの心の中で私への情熱がきざしてしまったのだもの。といつても——私はまったく潔白だろうか？あのひとの氣持をそそったようなことがなかったらうか？あのひとの素朴な振舞いをべつにおかしくもないのに皆でよく笑つたものだったが、この私もそれを面白がつていたし、その上——。おお、こんなに自分の愚痴をいうとはなんたることだろうかね！友よ、君に約束するが、私は自分を改めて、運命がわれらに課したわずかばかりの苦しみを、もはやこれまでの習いのようにくよくよと思ひ煩うことは

一七七一年五月四日

我终于走了，心里好高兴！我的挚友，人的心好生奇怪！离开了你，离开了我如此深爱、简直难以分离的你，我居然会感到高兴！我知道，你会原谅我的。命运偏偏安排我卷入一些感情纠葛之中，不正是为了使我这颗心惶惶终日吗？可怜的莱奥诺蕾！可是这并不是我的过错呀。她妹妹独特的魅力令我赏心惬意，而她那可怜的心儿却对我萌生了恋情，这能怨我吗？不过，我就完全没有责任吗？难道我没有培育她的感情？她吐自肺腑的纯真的言谈原本没有什么可笑，而我们却往往为之开怀大笑，我自己不是也曾以此来逗乐吗？难道我不曾——啊，人呀，自己抱怨一阵又有何用！亲爱的朋友，我向你保证，我要，我一定要改正，我不会再像往常那样，把命运加给我们的一点儿不幸拿来反复咀嚼；



日汉对照

少年维特的烦恼

やめるつもりだ。私は現在のものを享受しよう。過去は過去としよう。まったく、君のいうとおりだ。もし人間が——どうしてこんなふうに作られたものかはしらないが——これほどにも空想力をはたらかして不幸な思い出に耽溺することをしないで、もっと虚心に現在に堪えてゆきさえすれば、人の世の苦しみははるかに少いにちがいない。

どうか母に伝えてくれたまえ、依頼の用件はちゃんとはからって、できるだけ早く報告しますと。叔母とも会ったが、けっしてみなが思いこんでいるような悪い女じゃなかった。快活な熱情家で気のいいひとだ。遺産の分け前がまだ皆済になっていないので、母が不満に思っている点を説明したら、その理由や原因をのべ、これこれの条件さえ具わればいつでも全部をひきわたす、それもわれわれが要求している以上を、というのだった。まあ、今はこんなことはもう書くまい。万事うまくゆくだろう、と母にいつてくれたまえ。友よ、こんなささいな事件にかかわってみても、いつもながら経験することだが、世の中のいざこざの因になるのは、奸策や悪意よりも、むしろ誤解や怠慢だね。すくなくとも、前の二つの方がまねなことはたしかだ。

ともあれ、私はここで元氣だ。この天国のような地方にいて、孤独は私のこころにとって、貴い匂い油のようだ。若々しい季節はおびえがちな私の心を温め、充たし、溢れさす。どの木もどの籬もおのがじし花束になっているし、できたら黄金虫こがねむしとなって、このかぐわしい匂いの海にただよい、その中からわが身の養いを吸いとりたいほどだ。

ここの町そのものは感じがよくないが、そのかわり、周囲の自然のうつくしさはいいようもない。これにひかれて、亡きフォン・M伯はある丘の上に庭園をつくらせた。あたりの丘は千変

我要享受现时,过去的事就让它过去吧。你说得对,我的挚友,人要是没那么死心眼、不那么执著地去追忆往昔的不幸——上帝知道人为什么这样!——,而是更多地考虑如何对现时处境泰然处之,那么人的苦楚就会小得多。 请告诉我母亲,我将很好地办妥她交待的事情,并尽早把消息告诉她。我已经同婶婶谈过了,发现她远非是我们在家里所描画的那种恶女人。她精神焕发,快人快语,心地善良。我告诉她,母亲对她压着那份遗产不分颇有意见;婶婶向我说明了她的理由、原因以及她准备全部交出遗产的条件,这还超出了我们所要求的呢——简言之,我现在不谈这件事,请告诉我母亲,一切都会很好地解决的。我亲爱的朋友,在这件小事情上我又发现,世界上误解和懈怠也许比奸诈和恶意还要误事。至少奸诈和恶意肯定并不多见。 此外,我在这里感到很惬意。在这天堂般的地方,寂寞是一剂治我心灵的良药,而这韶华时节正以它明媚的春光温暖着我常常寒颤的心。林木和树篱鲜花盛开,我真想变作金甲虫,遨游于芬芳馥郁的海洋中,尽情摄取种种养分。城市本身并不宜人,但周围自然风光之绮丽却难以言表。座座小山多姿多彩,纵横交错,形成一个个秀丽的山谷。已故的封·M伯爵为之心动,便在小山上建起一座花园。



少年独特的烦恼 上 篇

万化のうつくしさのうちに交又して、やさしい谷間を形づくっている。この庭園は簡素ながらに、一步そこに足をふみいれると、これを構想したのはけっして理窟っぽい造園家ではない、感ずる心がみずから楽しむためにブランをひいたのだ、ということがおのずからうなずかれる。荒れはてた小さな四阿があって、かつては故人が好んでそこに坐ったところだが、いまは私が好んでそこに坐って、もう幾度も亡き人のために涙をながした。まもなく私はこの庭のあるじとなるだろう。知りあってからまだ二日三日のことだが、園丁も私に好意をみせてくれるし、私も彼にいいな思いをさせることはないだろう。

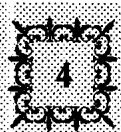
五月十日

いま胸いっぱいに味わっている甘美な春のあした、それとひとしい爽かさが、私の魂をのこるくまなく浸している。私はひとりで生きて、私のような心のためにつくられたこの土地に暮して、わが生を楽しんでいる。友よ、私は幸福だ。静穏な存在という感情の中にすっかり溺れてしまっているの、おかげで製作の方はさっぱりすまない。今は絵などかけそうもない。一本の線も引けそうもない。しかも、こうしているこの瞬間ほど、私が偉大な画家だったことはいまだなかった。やさしい谷が身を繞って煙っている。沖天の太陽はわが森にこめた闇の外にたゆたい、わずかに二すじ三すじの光線がその聖き奥へと洩れ入っている。そして、私は流れおちる瀬のほとりの背の高い草の中に臥して、大地にちかく寄り添いながら、さまざまの小さな草にむかって好奇の目を瞠る。ならぶ茎のあいだの小さな世界のうごめき。這う虫や飛ぶ虫の無数の姿。これら

花园简朴无华，一进去马上就会感觉到，它不是专业园艺学家设计的，它的图纸显然出自一位感情丰富的人之手，他欲在此排遣自己的情思和寂寞。那座浓荫遮掩的凉亭曾是已故园主人的心爱之所，也是我留连忘返之地，在那里我为那位业已作古的园主人洒了不少眼泪。几天以后我将成为花园的主人；没有几天，园丁就已对我颇有好感，而他也将得到好处。

五月十日

我整个灵魂都充满了奇妙的欢快，犹如我以整个心身欣赏的甜美的春晨。我常常独自一人，在这专为像我那样的人所创造的地方领受着生活的欢欣。我是多么幸福啊，我的挚友，我完全沉浸在宁静的生活的感受之中，以至于把自己的艺术也搁置在一边。我现在无法作画，一笔也画不了，和以往相比，此刻我是位更伟大的画家。每当这可爱的山谷里的雾气在我周围蒸腾，太阳高悬在我那片幽暗的树林上空，只有几束阳光悄悄射进树林中的圣地时，我便卧躺在山涧那飞跌而下的溪水边葳蕤的野草中，挨着地面观察千姿百态的小草；每当我感觉到我的心贴近草丛中麇集扰扰的小世界，贴近各种虫豸蚊蝇千差万别、不可胜数的形状时，



日汉对照

少年维持的烦恼

のものに心うたれながら、私はただちに感じる、おのれが姿に象^{かたど}ってわれらを創造したまいし全
能なる者の現前するを。また、われらを永遠の歓喜のうちにただよわせつつ支え保つ、一切を愛
する者の息吹きを。さらに、友よ、やがて時も移って、わが双の目のほとりはたそがれ、天も地
もさながら恋人の面影のごとくにわが魂の中に安らう。——このようなとき、私はしばしばあく
がれ、思う。「ああ、かくもゆたかにかくもあつくわが心の中に生きているものを、描きだすこ
とができた。画箋^{がせん}の面に浮かびあがらせることができた。わが魂が無限の神の鏡であるとお
なじく、その紙をわが魂の鏡であらしめることができた。——さあ、友よ、私はこれによ
って滅ぶ。私はこの壮麗な現象の力に圧倒されてくずおれる。

五月十二日

人を感じる精霊がこの地方には漂っているのだろうか。または、この世ならぬあたにかい幻想
が私の胸にあって、あたりのものなべてをかくも天国に化して見せるのだろうか。町のすぐ外に
泉がある。私はちょうどメルジーネとその妹たちのように、この泉に呪縛^{まじわ}されてしまった。小さ
な丘を下ると、とある穹窿^{くわうろう}の前へ出る。そこを二十段ほど降りてゆくと、下に、澄みきった水が
大理石の岩のあいだから湧きでている。上の方に繞^{めぐ}らされている低い壁、あたりを覆う高い木立
ち、ここの冷氣、すべてのものは心を魅^まして胸に浸み入るようだ。私はここに一時間ほど坐って
いないと、一日もすごすことができない。すると、町から娘たちがやってきて、水を汲んでゆく。
これこそはそのむかし王の娘たちすら手ずからなしたもうたという、おおどかなしきもなくしては

我就感到那个照他自己的模样创造我们的全能的上帝的存在，感觉到那个飘逸地将我们带进永恒快乐之中的博爱天父的呼吸；我的朋友，每当后来我眼前暮色朦胧，我周围的世界以及天空像情人的倩影整个都憩息在我心灵中时，我往往便会生出憧憬，并思忖：啊，你要是能把这一切重现，要是能把你心中如此丰富、如此温馨的情景写在纸上，使之成为你心灵的镜子，犹如你的心灵是博大无垠的上帝的镜子一样，那该多好！——我的朋友——不过，我若是真是这样做，就必将毁灭，在这些宏伟壮丽的景象的威力下，我定将魂销魄散。

五月十二日

我不知道，这地方是有迷惑人的精灵在游荡，还是我心里温馨、美妙的奇思异想把我周围的一切变得如伊甸园般的美好。花园前面有一口水井，我像美露茜及其姐妹一样，对这口井着了迷。——走下一座小山，就是一座拱门，再往下走二十级台阶，便有一股清泉从大理石岩缝中喷涌而出。泉水四周砌了矮矮的井栏，大树的浓荫覆盖着周围的地面，凉爽宜人。这一切既让人留连忘返，又令人悚然心悸。我每天都去那儿坐上一小时，一天不落。城里的姑娘都来这儿打水，这是一种最普通、最必需的家务劳动，从前国王的女儿也要亲自操持。



少年维特烦恼 上 篇

ならぬ仕事だね。ここに腰を下していると、かの族長時代の想念が——遠つ祖たちが泉のほとりで知りあって求婚するさま、また井戸や噴き上げのほとりに恵みある霊たちが漂っているさま——が身をめぐっていきいきと蘇ってくる。おお、この思いをともしない人は、いまだくるし
い夏の日の流浪の後に、泉のほとりの涼しさに体を医したことがないのである。

五月十三日

私の本を送ってやろうか、とおっしゃるのですかね？ おねがいだ、それは勘弁してくれたまえ。もうこの上指導されたり、鼓舞されたり、火をつけられたりはしたくない。この胸はそれだけで十分に湧きかえっている。私がほしいのは子守歌だ。そして、これなら、わが愛するホームーの中にいくとも見いだせる。激昂する自分の血を、私は幾度歌をうたってねかしつけたことだろう。この胸ほどさだかならず移ろいやすいものを、君は見たことはあるまいよ。いや、いままらこんなことをいうことはないね。君はもうずいぶん厭な思いも我慢して、私が苦悶から奔放へ、甘美な憂愁から荒廃した激情へと移ってゆくのを見てくれたのだから。私は自分の心をまる
で病気の子供のように扱っている。つまり、なんでもいうことをきいてやるのさ。これは誰にも
いわないでくれたまえ。悪くとも人もいるからね。

五月十五日

この町の下層の人たちは、もう私を知って、愛してくれる。ことに子供たちがそうだ。はじめ

每当我坐在那儿，古代宗法社会的情景便会在我眼前浮现：先祖们在水井旁结识、联姻，仁慈的精灵翱翔在水井和清泉的上空。哦，谁要是没有在炎暑劳顿跋涉之后享受了井畔的清凉而感到神清气爽，他对我的体会就不会感同身受。

五月十三日

你问，要不要把我的书寄来？——亲爱的朋友，我求你看在上帝份上，别让书籍来打扰我！我不想再要什么指导、嘉勉和激励，我这颗心本就己经够激荡翻腾的了；我需要的是摇篮曲，这我在荷马史诗中已经找到了好多。我常常将它们低声吟诵，以使我极度兴奋的热血冷静下来，因为像我这颗那么变幻无常、捉摸不定的心，你还从未见过呢。亲爱的朋友，你见我由苦闷变为放纵，由甜蜜的忧郁转为伤骨耗精的激情，你在替我担着多大的心，这还用我对你说吗？我自己也把我这颗心当成一个生病的孩子，任其随心所欲。这些情况请不要告诉别人，要不准有人要怪罪我的。

五月十五日

当地的下层老百姓已经认识我了，并且很喜欢我，尤其是孩子。

のうちは、この人たちの仲間に入って隔意なくあれこれと物を尋ねたりすると、ある人は自分を驕りものにするのだと思って、そっけなく相手にしてくれなかった。私はべつにいやな気もしなかった。ただ、これまでしばしば感じたことを、さらにつくづくと感じた。つまり、いくぶんでも身分のある人は庶民にむかってつねに冷たい距離をおいて対している。うっかり近づくと思ふと損をするとも思っているかのようだ。かと思ふと、軽薄な人間や性の悪い道化役者もいて、へり下ったように見せて、じつは貧しい人たちにますます自分の尊大を感じさせたりする。

私はよく知っている。われわれは平等ではない、またありえもしない。しかし、思うのだが、威厳を保たんがためにいわゆる賤民から遠ざかる必要があると信じている人間は、敗北をおそれて敵から身をかくす卑怯者と、同じ非難に値する。

ついさきごろ、私が泉に行ったとき、一人の若い召使いの娘がきていた。彼女は水甕を一ばん下の段において、誰か朋輩がきて手をかしてそれを頭の上にのせてくれないかと、あたりを見まわしていた。私は降りていって、娘をじっと見た。「手伝いましょうか、娘さん」と私はいった。娘はみるみる顔をあからめて、「いいえ、旦那さま、それには」といった。「遠慮しなくてもいいよ」——それで彼女は頭の上の下敷きをおきなおし、私は手つだってやった。娘は礼をのべて、階段をのぼっていった。

さまざまの知合いはできたが、交友はまだ見つからない。私のどういふところが人をひきつけ

五月十七日

我来作个有点儿可悲的说明：起先我去接近他们，友好地向他们问这问那，于是有人就以我是耍取笑他们，便粗暴地将我打发走。对此我倒并不生气，只不过我对我以前常说的事有了极其生动的体会：某些稍有地位的人对老百姓总是冷冰冰地采取疏远的态度，他们似乎以为接近老百姓有失他们的身份；还有一些浅薄之輩和捣蛋的家伙，他们做出一副降贵纡尊的姿态，好在穷苦百姓面前更显得鹤立鸡群。我知道，我们并不平等，还不可能平等；但是我却认为，那些以为必须远离所谓群氓以维护自己尊严的人，同那些因为怕吃败仗，所以见了敌人就躲起来的胆小鬼一样，应该受到谴责。

不久前我去井边，看见一个青年女仆，她将水甕放在最下面的一级台阶上，正在回头张望，看有没有女伴来帮她把水甕放到头顶上去。我走下台阶，望着她。“要我帮您吗，姑娘？”我说。——她满脸通红。——“噢，不用，先生！”她说。——“别客气。”——她摆正头上的垫圈，我帮她放上水甕。她道了谢，便往上走去。

五月十七日

我已结识了形形色色的人，但知心朋友却尚未找到。我不知道，



少年雜誌的煩惱 上 篇

るのか自分には分らないが、多くの人が私を好いてくれ、近よってきてくれる。それなのに、われらが共に行く道はごく短いだから、悲しいことだ。この人々はどんなふうだ、ときかれるなら、よそと同じだ、と答えるほかはないよ。しゅせん人間というものには型は一つしかないね。たいていの人間は大部分の時間を、生きんがために働いて費す。そして、わずかばかり残された自由はというと、それがかえって恐ろしくて、それから逃れるためにありとあらゆる手段を尽くす。おお、人のさだめよ！

それにしても、善良な人たちだよ！ ときどき自分というものを忘れて、小綺麗に支度した食卓で心おきなくうちとけて冗談をいいあったり、ほどよいときに馬車の散歩や舞踏会を催したり、こうしたまだ人間にゆるさされている喜びをとともに味わうと、私はほんとうに気が晴れる。ただ、こういうような時にも、思いだしてはならないことがある。それは、自分にはこんなことをするよりもまだもっと多くのほかの力が残っている、自分はそれを使わないままにむなしく朽ちさせている、しかも用心に用心をしてそれを人には匿してゐなくてはならない、ということだ。ああ、これと思うだに胸がしめつけられるようだが——、しかし！ 誤解されるということは、われらごとき者の宿命にちがいない。

ああ、少年時代のあの女の友がいまは亡き人となったとは！ ああ、かつてあのひとを知っていたのに！——痴れ者よ、おまえはもはやこの地上で求めてかなわぬものを求めている。思えばこうもいうべきだろうけれども、ただあのひとは私のものだった。私はあの心に、あの大いなる魂に触れていた。その前にいるとき、自分がありうる一切のものであったがゆえに、自分が自

我究竟有些什么东西吸引人，令那么多人喜欢我、疼爱我，每当我们只能一起走一小段路，我就感到难过。你要是问这儿的人怎么样，那我要告诉你：和各处的一样！人都是一个模子里造出来的。多数人为了生计，干活耗去了大部分时间，剩下的一点儿业余时间却令他们犯了闲愁，非得挖空心思、想方设法把它打发掉。啊，人就是这么个命！ 不过，他们都是好人！有时我忘了自己，有时同他们共享人间尚存的欢乐：或一起品尝佳肴，酣饮醇醪，坦诚畅叙，开怀笑谈，或适时安排郊游，组织舞会等等，这一切对我的心身都颇有裨益；只是我未曾想到，我身上还有那么多剩余的精力，由于闲置未用而在衰退，我不得不小心翼翼地将它们掩藏起来。唉，这是多么令人揪心啊。——事情就是这样！被人误解，这是我们这样的人命中注定的。唉，我青年时代的女友已经离开人间，啊，我与她曾经相识！——我真想说：你是傻瓜！你在寻找人世无法找到的东西！但是我曾拥有过她，我曾感到过她那颗心，那个伟大的灵魂，只要有她在，我就觉得比我实际的境界高出了许多，因为凡是我能做到的一切，我都达到了。



日汉对照

少年维特的烦恼

分以上的ものと思われた。おどろくべきかな、あのとき、私の魂の中には働かないでいる力は一つもなかった。彼女の前にあるときは、わが心は靈妙な官能の一切を高揚させて、自然を抱擁することができたではないか？ われらの交わりこそは、こまやかな感受性とするどい機智を果つることなく綾に織りなし、くさぐさの形に姿を変えて、ときにはめづらかな技巧をもこらして、なべて天才の刻印を押されていたではないか？ しかも、いまは！——私よりも長じていたあのひとの歳は、私に先んじてあのひとを墓へとつれさった。私はあのひとを忘れまい。あの堅固な稟質と神にも似た忍苦を忘れまい。

二三日前に、私はV……という若い人に会った。ととのった容貌の、あけつびろげな人だ。大学を出たばかりで、とくに聡明だとうぬぼれているわけではないが、それでも他人よりは物知りだと自負している。勉強家であることは何かにつけてよく分るし、とにかく相当な博識家であることはたしかだ。私がしきりに絵をかいていて、ギリシャ語もできる(ドイツでは、これが二つの流星みたいなもので、人をおどろかすに足る)ときいて、私のところにたずねてきて、たくさんの知識を並べた。バトーからウッド、ド・ビルからウィンケルマン、さてはズルツァーの理論の第一部をのこらず通読した、さらに古代研究に関するバイネの講義のノートを持っていると断言した。はい、はいと、きいてはおいたが。

もう一人、これは立派な人と知りあいになった。公爵家の法官で、率直な誠実な人だ。子供が九人あるそうだが、この人がそのあいだに坐っているときの様子は、見ただけで心が楽しくなるということだ。とりわけ上の娘のことを誰でもしきりに噂をする。私を招いてくれたので、近い

仁慈上帝！难道那时我灵魂中还有一丝精力未曾使用？在她面前难道我不能抒发我的心用以拥抱大自然的全部奇妙的感情？我们的交往中难道不是持续不断地织进了最纤细的感情、最敏锐的睿智，直至妙趣横生的谐谑和胡闹？这一切不全都打上了天才的印记？而如今！——啊，岁月，她长我的几年岁月，竟将她先于我带进了坟墓。我永远忘不了她，永远忘不了她那坚定的意志和她非凡的宽容。几天前我遇见一位年轻人V，他是位襟怀坦荡的青年，脸也很俊。他刚从大学毕业，虽不自命不凡，但总以为比别人知道得多。我从各方面都感觉到，他也很勤奋，总之，他的学问不错。他听说我会画画，懂希腊文(这两件事在此地简直可说是寥若晨星)，便来看我，叙谈中他从巴妥到伍德，从德皮勒到温克尔曼，将自己渊博的知识都抖搂出来炫耀一番，并对我说，他已通读了苏尔策理论的第一部分，还拥有一部海纳研究古希腊文化的讲稿。我则没去答理，任他吹得天花乱坠。我还认识了一位正派人，他是侯爵在此设置的地方官，是个直爽、坦诚的好人。有人说，见他和他九个孩子在一起的情景，真是赏件心的乐事；尤其是对他的大女儿，人们更是交口称赞。他已经邀请我去他家，



少年維特的情懷 上 篇

うちに訪問しようと思っている。彼はここから一時間半ほど離れた領主の狩獵館に住んでいるが、妻に死なれたあと、この町にいて官舎に暮すのは悲しみの種だからとて、許可をえてそこに引き移ったのだそうだ。

そのほか二三の調子のくるった変人とも行きあったが、この連中にはどうも我慢がならない。なれなれしげな友情を示されることに、何よりも閉口する。

さようなら。この手紙は君の氣に入るだろう。歴史的だ、つまり事実の報告に終始したからね。

五月二十二日

これまでに多くの人が、人の一生は夢にすぎない、と考えた。そして、この思いは私にもつねにつきまといて離れない。活動したり探究したりする人間の力には、限界があつて制約されている。すべての人の営みは、しゅせんはさまざまの欲求を満たすためのものだ。しかも、この欲求とて、そのねがうところはただ、われらのこの哀れな存在を引きのばそうとするにすぎない。探究があるところまで達したとて、そこで安心を得ているのは、夢を描いての諦念にほかならず、おのれを囚えて閉じこめている四つの壁の面に、彩ある姿やあかるい風景を描いているのだ。

——こうしたことすべてを見ると、ウィルヘルムよ、私はただ口を噤むよりほかはない。私はおのれが心の内面にたち返って、ここに一つの世界をみいだす！ 具象化されたもの、はた生きて働く力よりも、むしろ予感とおぼろげな希求のうちに、いつもながらわが世界がある。ここにあってこそ、万有はわが感覚の前に漂い、私は夢みつつかの世界にむかつてはほほ笑みかける。

我想近日去拜访他。他住在侯爵的一所猎庄里，离这里一个半小时路程，他是在妻子去世后获准迁往那儿的，要不，再住城里的官邸只能使他触景生情，陡增悲痛。此外，我还遇到几个怪里怪气的人，他们的一言一行都让人厌恶，而他们见了你那股热乎劲最让人受不了。再谈吧！这封信全是客观介绍，一定会合你的意。

五月二十二日

人生如梦，有人已经有此体验，这种感觉也萦绕在我的心头。每当我看到禁锢着人类创造力和探索力的那些局限；每当我看到人类把他们的精力全都耗费在设法满足目的仅仅是为了延长我们可怜的生存之各种需求上，看到要从探索的某些目标中得到慰藉那只是梦里听天由命的企盼，犹如一个被囚禁的人把囚室的墙上画上各种彩色人像和明丽的风光——威廉呀，对于这一切我只能缄默不语。于是我就回复到自己的内心，竟发现了一个世界！我更多地沉浸在思绪和隐秘的欲愿之中，而不是去表现生气勃勃的力量。在我的感官面前一切都变得朦胧恍惚，我也梦幻似地含笑进入这个世界。

子供は意欲しながらその理由をしらない、ということについては、博識な学校の先生も家庭の教師も見解が一致している。しかし、成人といえども、じつは子供とおなじように、この地上によろめきながら、いずくより来りいづくに行くかをも知らず、真の目的にしたがって行為することもなく、やはりビスケットや菓子や白樺の笞むちによって操縦されているものなのだ。このことを誰も信じようとはしない。これほどにも明々白々の事実なのだがね。

こういえば君がなんと答えるかは分っている。私の方からいってしまおう。その日その日子供とおなじように暮して、人形を引きずりまわして脱がせたり着せたりし、ママが砂糖パンをしまつておいた抽斗ひきだしのまわりを息をこらして忍びあるき、とうとうねらっていたものをうまくせしめて頬ほばって、それから「もつと！」と叫ぶ、こうした人間が一番幸福なのだ。また、自分の愚劣な仕事や、ときには自分の欲情にまでも堂々たる名称をくっつけて、これぞ人類の福祉繁栄のための大事業だと押売りする連中も、たしかに幸福だ。こういうことができる人は幸いなるかな！——だが、謙抑にも、こうしたことは結局はどういうことであるかを見抜いている人もある。またさらに、心足ろうた市民ならばわが家の庭をかざってそれを一つの楽園に作りなすことができるし、不幸な身の上の人といえどもその重荷にあえぎながらも倦まずに道をつづけてゆくものだし、なによりも万人はひとしく太陽の光を一分でも長く見ていたいとねがうものだ、ということを知っている人もいる。こういう人々は、しずかに黙して、自分の世界を心の内面からつくりだす。かくて、この人は人間であるが故に幸福である。そして、いかに大きな制約をうけながらも、つねに自由という甘美な感情を、いつでものぞむときにこの囚屋くわを出てゆくことができる。

满腹经纶的各级教师都一致认为，孩子们并不懂得他们所欲为何；成人也同孩子一样在这个地球上到处磕磕绊绊，劳碌奔忙，既不知道自己来自何处，欲往何方，办事也无真正的意向，只好成为饼干、糕点和桦树条的奴隶；这些谁也不愿相信，然而我却觉得，这是一目了然的。我知道，听了上面所说你会跟我讲些什么，所以我愿向你承认，那些像孩子一样无忧无虑的人最为幸福，整天带着玩具娃娃东转西跑，给娃娃脱了穿，穿了脱，瞪大眼睛在妈妈放甜面包的抽屉周围悄悄转悠，要是一下拿到了心爱之物，便将嘴里塞得满满的，鼓着腮帮吃掉，并且嚷嚷：“还要！”——这样的人是幸福的。还有那些人也是幸福的，他们把自己鸡毛蒜皮的事或者甚至把自己的癖好全都贴上漂亮的标签，并把这些说成是造福人类的伟大业绩。——能这样做的人，愿他们幸福吧！可是，谁不怀奢望地看到这一切的后果，谁看到市民的幸福就在于循规蹈矩地把自己的小花园拾掇成伊甸园，看到不幸的人也在不屈不挠地、气喘吁吁地继续向前走，大家同样都希望还能多看一分钟太阳的光辉——那末，他的心境就会是平静的，他也从自己的心里创造了一个世界，他也是幸福的，因为他是人。所以，无论受着怎样的束缚，他心里始终深怀美好的自由之感，他知道，他随时都可以离开这个樊笼。



少年維持的煩惱 上篇

きるといふ氣持を、おのが心の底にたたえている。

五月二十六日

君は前から知っているね、私の住み方を。どこか氣に入るところに小屋を建てて、できるだけ簡素に起居したい。ここでもある場所を見つけたが、それにはたいへん心を惹かれてしまった。

この町から一時間ほどのところに、ヴァールハイム(原注とよばれる村がある。丘に添うそのたはずまいは面白く、村から出て上の小徑をゆくと、にわか一面の谷を見はるかす。年をとってはいるが愛想がよくて快活なレストランのかみさんが、葡萄酒やビールやコーヒを給仕してくれる。そしてなによりの御馳走は、二本の菩提樹だ。それは枝をひろげて、教会の前の小さな広場を覆っている。農家や納屋や中庭がこの広場のぐるりを取りまいてる。

これほどにも親しみのあるしみじみとした場所を、まだ見たことはなかった。それで、レストランからここまで自分用の卓と椅子をもってこさせ、ここでわがコーヒをのみ、愛するホームを讀む。ある晴れた午後には、はじめて偶然にこの菩提樹の下にきたときには、この広場はひっそりとしていた。人はみな畑に出ていた。ただひとり四つばかりの男の子が地面に坐って、もうひとりの半歳ばかりの児をその両足のあいだに坐らせて、両腕で自分の胸に抱きよせ、ちやうど安樂椅子のような役をしていた。黒い目であたりを見まわす様子は、ずいぶんやんちゃらしいのに、それでも静かに坐っていた。この光景がすっかり私の氣に入った。向いに置いてあった鋤の上に腰をおろして、このむつまじいポーズを心のしくスケッチした。かたわらの垣根と納屋の入口、

五月二十六日

我爱找个合意的地方盖间小屋栖居,极其简朴地在那儿住下,我的这个脾性你早就知道。这里我又已发现了一个非常吸引我的好去处。有个叫瓦尔海姆的地方,离城大约一小时路程,坐落在山坡上,令人神往,走上通往村里的山路,整座山谷便尽收眼底。那位上了年纪的酒店女老板是个殷勤好客、古道热肠的人,她给我斟了葡萄酒、啤酒,倒了杯咖啡;最令人陶醉的是那两棵菩提树,它伸展的枝桠覆盖了教堂前的农舍、谷仓和场院围绕的小场地。像这样令人神往、又不惹人注意的好去处实在不容易找到,我常常让侍者从酒店里把小桌子和椅子搬到菩提树下,边喝咖啡,边读我的荷马。第一次,我在一个风和日丽的下午偶然来到菩提树下,发现场地上很冷清,大家都下地干活去了;只有一个大约四岁的孩子坐在地上,面前另一个大约半岁的小孩坐在他的双脚之间,他用双手搂着他,让他靠在自己怀里,正好成了小孩的靠背椅,虽然他的一双黑眼睛在活泼地东看西望,但他却一直安安静静地坐着。看到这一情景,我心里乐不可支;我便在对面的一张耕犁上坐下,兴致勃勃地画下了这兄弟俩的姿态。我又添上了近处的篱笆,



日汉对照

少年维特的烦恼

それからいくつかの壊れた車輪を、並んでいる順に奥に描き加えた。一時間たってみると、自分の意図はすこしも交えないのに、よく整って、非常に面白い絵ができあがっていた。このことから、これからはただひたすらに自然のみに拠ろうという決心をかためるようになった。

自然のみが無限に豊かである。自然のみが大芸術家をつくりうる。芸術における規則の利益ということについてもいろいろにいうことはできよう。しかし、それは市民社会を讃美していることと、ほぼ同じである。ちょうど法則と礼儀の型どおりに育った人が、けっして持てあましの隣人やひどい悪党になることがないように、規則にしたがって修行する作家はけっして没趣味な俗悪なものを製作はしない。しかし、その半面、一切の規則というものは、誰がなんというとも、自然の真の感情と真の表現を破壊してしまう！「それはいいすぎだ。規則はただ制限し、むだな蔓を刈るだけだ。云々」と君はいうのかね。よろしい、君、一つの比喻をもちださしてくれたまえ。それは恋の場合と同じことだよ。ある青年が少女に恋をして、毎日朝から晩までそばを離れず、ただ身も心も献げきつていることをつねにつねにあらわそうとて、力も財産も費いはたす。そこに一人の俗物がやってくる。公職についている人物だね。そしていう。「優雅なる若き紳士よ。恋は人間的である。されば君は人間的に恋しなくてはなりませんぞ！君の時間を区分して、ある時間を勤労にあて、休みの時間を彼女にあてよ。君の財産を算定し、必要経費の残余をもって——それも過度にわたっては相ならんが——誕生日ないしは命名日などに彼女に贈り物をせらるる、それはあえてさまたげない。しかじか。」もし青年がこれに従えば、彼は有為な青年であり、私とて役所に御採用くださいと彼をどこかの領主にすすめましょう。ただ、

仓库的大门以及几个坏了的车轮，所有这些都按其前后远近的位置加以处理，经过一小时便完成了一幅精心布局、意趣盎然的作品，画上丝毫没有加进我自己的想法。这增强了今后我纯粹要遵循自然的决心。惟有自然才是无穷丰富的，惟有自然才能造就伟大的艺术家。对于成规的好处，人们可以赞美揄扬，大体犹如对于市民社会也可众口齐颂一样。一个按成规造就出来的人绝不会画出乏味拙劣的东西来，正如一个规矩守法的人绝不会令邻居讨厌，绝不会成为恶毒的歹徒，但是，另一方面，一切成规无论怎么说，也必定会破坏自然的感情和对自然的真实表现！你会说：“这太极端了！成规只起约束作用，把疯长的葡萄蔓修剪修剪”等等——好友，要我给你打个比方吗？这就像是谈恋爱。小伙子钟情于一位姑娘，成天厮守在她身边，耗尽了全部精力和财产，为的是好时时刻刻向她表白他对她一往情深的感情。这时来了个担任公职的市侩，对小伙子说：“可爱的年轻先生，恋爱是人之常情，你的爱也应符合情理！把你的时间分配一下，一部分时间用来工作，休息时间就给你心爱的姑娘。算算你的财产，除去必要的开销，余下的我倒不反对你买件礼物送她，只不过不要送得太频繁，大体上的生日和命名日送她就行了”等等诸如此类的话。——要是听了这位庸人的话，那末就会出现一个有为的青年，我甚至可以向任何一位侯爵推荐，给他一个职位；



少年雜誌的煩惱 上 篇

彼の恋はもうそれでお終いだ。もし彼が芸術家なら、彼の芸術はもうそれでお終いだ。おお友よ！ 君たちの魂を撼おとっておのかしむべく、いかなれば天才の激流の迸はなはしることかくは稀まれに、高き潮にたぎることかくもめずらしいのであろう？ よき友らよ、その兩岸には冷静なる紳士たちが住んでいて、天才の奔流のためにかれらの四阿よこやチューリップの花壇や野菜畠が壊滅しないようにと、あらかじめ堤防や疏水をつくって、あるいは来ることあるべき危険にそなえているのだ。

原注 読者はここにあげた地名をおさがしにはならぬように。原文の中の原名は変更しなくてはなりませんでした。

五月二十七日

どうやら夢中になりすぎて、比喩と雄弁に陥って、あの子供たちがどうなったかを終りまで話すのを忘れてしまったようだね。昨日の手紙で断片的にのべたとおり、私は作絵の感興にすっかりひたって、二時間ほど鋤くわの上に腰かけていた。すると夕方になって、若い女が腕に小さな籠をかけて、ずっとじっとしていた子供たちの方に向かってきて、遠くから呼んだ。「フィリップスや。いい子だったねえ」——それから私に会釈をした。私もそれに返して、立ち上り、近づいていて、この子たちの母親なのかとたずねた。そうだという返事だった。そして、女は上の子に白パンを半分あたえ、小さい子を抱きあげて、いかにも母親らしい愛を罩おほめて接吻した。——「わたしはフィリップスに小さいのをあずけて」と彼女はいった、「総領をつれて町にいった

不过他的爱情就完了，倘若他是艺术家，他的艺术也就完了。啊，朋友们，为什么天才的河流，难得冲破堤岸，难得成为汹涌澎湃的洪水，震撼你惊愕的灵魂？——亲爱的朋友们，其原因就在于，两岸住的是沉着冷静、深思熟虑的老爷，他们担心自己花园中的亭榭、郁金香花圃以及菜园会被洪水冲毁，所以知道及时筑堤挖渠，以防患于未然。

五月二十七日

我发现，我着迷了，一味打比方，发议论，忘了把这两个孩子后来的情形向你讲完。我在犁头上坐了两个小时，我的思绪完全陶醉于作画中，昨天的信上已零零碎碎地对你谈起过。傍晚，一位手捧小篮的年轻女子朝着一直一动不动地坐在那儿的两个孩子走来，她老远就喊道：“菲利普斯，你真乖。”——她问候了我，我谢过她，站起身来，走到她跟前，问她是不是孩子的母亲。她作了肯定的回答，同时给了大孩子半块面包，抱起小的，以满怀深情的母爱亲吻他。——“我把这个小的交给菲利普斯照看，”她说，